なぜお寺に参るのか

私たちは、この世界にいのちをさずかり、 日々の生活の中で、仏さまにまもり導かれ

生きています。

その仏さまに

手を合わせに、

お寺に参りましょう。



永 代 経

亡き人をご縁として永代にわたり、 お寺で法要をおつとめします

春季(秋季)彼岸会

亡き人が往生された お浄土をおもい、おつとめします

盂蘭盆会

お盆をご縁に亡き人をしのびつつ、 おつとめします

報恩講

親鸞聖人のご命日の法要です

お寺によって、この他にも結婚式や初参式など人生の節目に、仏事を営むこともできますので、お気軽にお寺にご相談ください。

◆ お寺でもできる家庭のお仏事

祥月法要

亡くなった方の命日におつとめします

また。 **年忌法要** 一周忌、三回忌など定められた年の 祥月命日などにおつとめします

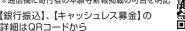
家庭で営まれる仏事はお寺でも行うことができます。広い空間で密を避け、また、荘厳されたおごそかな雰囲気での法要となります。お気軽にお寺にご相談ください。

「子どもたちの笑顔のために募金」のお願い



国内外の貧困に苦しむ子どもたち、 子ども食堂、学習支援、児童養護施設等を支援

【郵便振替】00940-8-282766 (加入者名)子どもたちの笑顔のために募金 ※通信欄に寄付者の本願寺新報掲載の可否を明記









② 净土真宗本願寺派(西本願寺)

編集: 浄土真宗本願寺派総合研究所 「新しい日常の中で VOL.2」第1版 2023.01.250,000 重点プロジェクト推進室

父も母も 祖父も祖母も その前の人たちも お寺に参った

お寺の本堂に座り、

阿弥陀如来の前で静かに手を合わせて、南無阿弥陀仏と称える。

父も母も、

じいちゃんもばあちゃんも、

あの人も、

こうしてお寺に参っていた。

昔に聞いたばあちゃんの声が聞こえた気がした。

「いろいろとつらいこともある。

でも、私はこうしてお寺さんに参って生きてきたんだよ」

なにか大きな流れの中に、

大きなはたらきの中に自分がいる。

不思議だ。

もう一度、南無阿弥陀仏と称える。



新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)

南無阿弥陀仏
「われにまかせよ そのまま殺う」の 弥陀のよび声
私の煩悩と仏のさとりは 本来一つゆえ
「そのまま殺う」が 弥陀のよび声
ありがとう といただいて
この愚身をまかす このままで
投い取られる 自然の浄土
仏恩報謝の お念仏

これもひとえには、はないはないには、これもひとえには、はないないには、これのです。 これものです

み教えを依りどころに生きる者 となり 少しずつ 執われの心を 離れます 生かされていることに 感謝して むざばり いかりに 流されず 穏やかな顔と 優しい言葉 いなも 分かち合い 日々に 精一杯 つとめます

(新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)についての消息より)

新しい「領解文」 (浄土真宗のみ教え)についての消息 全文はQRコードから



りっきょうかいしゅう きょうさんほうょう 【親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要のご案内】

2023(令和5)年3月29日~5月21日の間、親鸞聖人御誕生850年·立 教開宗800年慶讃法要がご本山で勤まります。「親鸞聖人の説き示してく ださった浄土真宗の教えに出遇うことがなければ、今の私はあり得なかっ たという聖人への感謝と、その教えに出遇えたことの喜びを込めて、聖人 のご誕生を祝い、『立教開宗』に感謝する」法要です。皆さまぜひ、お誘いあ わせのうえ、で参拝くださいますようお待ち申しあげております。



ご参拝方法要の詳績QRコード



なお、ご本山以外に教区・別院・組等においても法要が勤まりますので、 お問い合わせのうえご参拝ください。